

各部門の最優秀賞作品（3点）

最優秀作品は、啓発用ポスターとして、市内各関係機関や店舗、長良川鉄道駅舎等に掲示しています。



【小学校1～3年部門】
やまだ ちはる
山田 千晴さん
(八幡小1年)



【小学校4～6年部門】
もりよし さわ
森藤 沙羽さん
(大和西小4年)



【中学生部門】
おぐら ねか
小椋 ね果さん
(高鷲中2年)

部門	優秀賞
小学校1～3年	こしま あや 小嶋 彩さん(和良小2年)、佐野菜奈さん(和良小3年)
小学校4～6年	こしま あい 小嶋 愛さん(和良小4年)、まつした アシュリーさん(吉田小6年)
中学校	のざき かのん 野崎奏音さん(白鳥中2年)、みずくち 紗い 水口結惟さん(白鳥中3年)

大切な命ポスターコンクール

「郡上市いのち支え合い虐待防止推進共同事業」

郡上市いのち支え合い虐待防止推進協議会では、昨年10月に市内小学生・中学生を対象に「大切な命」をテーマとしたポスターコンクールを行いました。63点もの応募があり、「いのち」について考え、「自分や家族、友達や周りの人」を思う気持ちが伝わる素晴らしい作品ばかりでした。入賞されたみなさんを紹介します。
(敬称略)

「こころ」と「いのち」
みんなで支え合う郡上

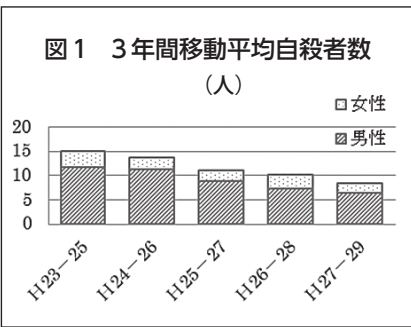


郡上市いのち支え合い虐待防止推進協議会

市では、平成26年度に協議会を設置し、20の関係機関や団体と連携してこころの健康づくりや自殺予防、児童・高齢者・障がい者の虐待防止に向け、相談や啓発活動を行っています。

自殺者数はやや減少

郡上市の自殺者の状況は、男性が女性の3倍で、60歳以上に多い傾向があります。3年間の移動平均で見ると、平成23～25年での15人に比べ、平成27～29

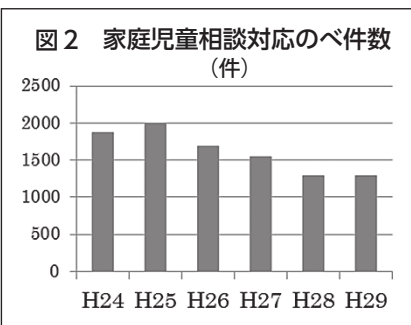


年は8.3人と徐々に減少しています。(図1)

市では臨床心理士によるこころの相談、民生・児童委員や母子成人保健推進員等を対象に、うつ病やアルコール依存症などについての学習会を行い、正しい知識の普及と予防啓発を行っています。

児童虐待の現状

全国では、児童虐待で尊い命が奪われる事件が後を絶ちません。虐待やその疑いがある場合、まずは子どもの安全確保を最優先し、良好な家庭環境で生活できるよう、子ども相談センターや市が中心となって支援を行っています。ここ数年の児童虐待に関する市の家庭児童相談対応件数は、グラフのようにやや減少しています。(図2)



高齢者虐待の防止

高齢化が進むにつれ、介護が必要な人が増えています。同時に、家庭内での介護負担が大きくなることで虐待が起こる心配があります。市の地域包括支援センター(☎67・0008)が中心となり、地域や関係機関と共に虐待の早期発見、早期対応ができる地域づくりをすすめています。

差別や偏見をなくそう

「虐待」というと生命にかかわるような暴力的行為が連想され、身近な問題として感じにくいかも知れませんが、実際には日常生活の中にも潜んでおり、偏見や差別、無関心といったことが大きく関係しています。市では、権利擁護支援事業としてNPO法人「生活支援ネットワークじょう」(☎88・2219)に委託して差別や虐待を防止するための研修会や啓発活動を積極的にを行っています。

3月
「自殺対策強化月間」
です。